

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連 (東海)	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・これからは円安となる。		
		一般小売店〔土産〕 （経営者）	・当観光地では、来年は20年に1回のイベントを迎えるので、忙しくなるのは必至である。加えて、クラフトビール業界においても、ようやく日本の市場に定着した実感がある。		
		百貨店（売場主任）	・前半の連休では、家族連れの家来が多かった。その分後半は客の財布も寂しいかと心配したが、後半の土日にカードで買物をする客が多く、売上もそれなりにあった。高額商品も結構売れているので、まずは景気も良い。		
		百貨店（販売促進担当）	・例年ウインターファッションの動きが活発化する11月には、気温が下がる予測が出ており、多少冬物衣料に対して財布のひもが緩む。		
		家電量販店（店員）	・新しい基本ソフト（OS）の発売で、パソコンが盛り上がる。		
		乗用車販売店（経営者）	・新型車が年末に投入される予定があるので、現在の閉塞感を打開してくれるものと期待している。		
		乗用車販売店（従業員）	・販売量の動きが少しずつ下げ止まっている印象を受けている。これから少しずつ戻っていく。		
		乗用車販売店（販売担当）	・ディーゼル車がこれからも出てくるため、良くなっていく。		
		その他専門店〔雑貨〕 （店員）	・正月商戦に入るため、販売量が多くなり、それに伴い売上も増える。		
		その他小売〔ショッピングセンター〕 （営業担当）	・気温の低下が進み、繁忙期に入るため、消費行動は活発になる。クリスマスやボーナス商戦も控えており、現時点よりは好景気になる。		
		スナック（経営者）	・OB会・忘年会の予約が多少入っているので、期待したい。		
		その他飲食〔仕出し〕 （経営者）	・年末にかけて、おせち、クリスマスなどの売上が、ある程度期待できる。		
		タクシー運転手	・12月は毎年忘年会等で人が集まる機会が多く、寒いことも手伝い忙しくなる。		
		テーマパーク（職員）	・複数の週末で来園者数が上がってきているので、期待ができそうである。		
		美容室（経営者）	・あと2か月でお正月になるため、お正月前までには客の出足が多くなると思うし、多くなって欲しい。		
		美容室（経営者）	・年末にかけて、イベントやボーナスもあるため、少しずつ景気も良くなる。		
		その他サービス〔介護サービス〕 （職員）	・新商品の投入で、年末に向け販売量は増加する見込みである。		
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕 （経営者）	・ホテルの大型改修工事の受注をしたので、売上が伸びる。		
		変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・例年、年明け辺りまでは間違いなく忙しい。
				商店街（代表者）	・相変わらず、売れているところとそうでないところの差が激しい。お金の流れが特定のところに偏り過ぎてるように思える。政策も停滞しており、2～3か月先についても、企業業績の良し悪しは別として、特段の変化はない。
商店街（代表者）	・まずは悪くならないことを期待する。夏以後の購買商品価格の低下が続くそうなので、現状と変わらない。				
商店街（代表者）	・来客数が伸びない限り、販売量・販売高にはつながらない。手は打っているが、客の懐具合は厳しい状態である。良くなる可能性はほとんど見受けられない。				
商店街（代表者）	・地域の電器専門店では、テレビの単価の下落で、売上金額があまりにも上がらない。太陽光発電、リフォーム等の需要を、提案営業で取り込みたいが、訪問販売業者との価格差がありなかなか難しい。				
一般小売店〔電気屋〕 （経営者）	・9、10月と、あまりにも酷過ぎたので、11月に期待している。				
一般小売店〔薬局〕 （経営者）	・当地域は不景気の真っ只中にある。大きな店が廃業、倒産している。薄給で働いている人も多い。年金の振り込まれる奇数月の15日から2～3日は忙しいが、今のデフレ状態では、景気回復は期待できない。				
一般小売店〔自然食品〕 （経営者）	・先行きの様子を見てみると、変わらないと感じる。年末への購買意欲はまだ感じられない。				
一般小売店〔土産〕 （経営者）	・国民無視の政治の現状が変化しない限り、景気上昇は望めない。				
一般小売店〔時計〕 （経営者）	・景気対策に期待が持てない。				

一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
百貨店(売場主任)	・冬物小物に期待するが、ファッション性の商品は先が見えず、相変わらず財布のひもは固い。
百貨店(企画担当)	・10月後半は気温低下もあり、秋物が動きを見せるとともに全体的に客の購買意欲向上が感じられたが、年末・年始にかけては大きく景気を伸ばす要因が見られない。逆に、領土問題や公共料金値上げ、政情不安など、マイナス要因の方が多く見られる。
百貨店(経理担当)	・来月からお歳暮商戦が始まり、年末商戦へ向かっていくが、先行き不安のなか、客の購買意欲が上昇するとは考えられない。
百貨店(販売担当)	・年末年始は、一時的に良くなる可能性はある。通常儉約・節約をしていた客の、特別な時期の買物やプレゼントでの、百貨店への期待はまだ高い。しかしながら、年明けの冬物セールに関しては、シビアな状態に戻り、相当吟味され、欲しいものしか購買されない可能性が高い。
百貨店(営業企画担当)	・2～3か月の期間では好要因、悪要因共に大きな事項はなく、大きな変化は起こりにくい。今後の政治の動き次第で変化が起こる可能性も高いが、好転する可能性は低い。
スーパー(経営者)	・年末を控えて、活況を取り戻したいところであるが、悪い状態が続く。
スーパー(店長)	・プライベートブランド商品等での低価格販売が強まりを見せてきている。プライベートブランド品質も向上してきており消費者に認知されてきているため、今後も低単価の状況が続く。
スーパー(店長)	・消費税が増税されるまで、現在の消費の傾向は変わらず、消費意欲は低い。
スーパー(店長)	・電気代等の値上げ、またそれ以外にも各種商品の一部値上げ等がある。特に米などの主食となるものの値上げが影響している。今後それを好転させる要素が見付からない。
スーパー(店員)	・年末に向けて、財布のひもが緩くなる傾向だと思うが、工場閉鎖のニュースやぎふ清流国体の終了で、周りの雰囲気は祭りの後のように静けさを感じる。
スーパー(店員)	・良くなる材料がない。
スーパー(営業担当)	・国会の動向に閉塞感がある状況は、将来に渡って景気マインドを押し下げている。相次ぐ大手家電メーカー、自動車産業の人員削減、外部要因による生産調整など、景気浮揚の要素が少ない。
スーパー(販売促進担当)	・客の流れが変わってきている。駅北の大型店への流れが変わらず、駅南の地域は厳しい。来年春にはまた大型商業施設がオープンする予定で、さらに苦しい。
スーパー(販売担当)	・今のところは、売上が増える材料が何も見えてこない。
コンビニ(企画担当)	・今の悪い状態が続く。良くなることはない。
コンビニ(エリア担当)	・下げ止まりを回復するべく、施策・キャンペーンを実施する。次世代向けに、コンビニを脱却したフォーマットを検討推進することで、売上改善を図る。
コンビニ(エリア担当)	・今月の状況は当面継続し、今後の状況もあまり変化がない。
コンビニ(店長)	・クリスマスピークに、12月は非常に来客数が多い月であるが、このままいくと、今年の24日のクリスマスイブは休日ということもあり盛り上がりそうにない。したがって12月も今のようによくはない状態が続く。
コンビニ(店長)	・10月が良かった分、11月は通年では落ちるが、暖冬傾向で良い天候が続くようなので、客の来店回数は今月とあまり変わらない。
衣料品専門店(経営者)	・バーゲンも、欲しい物が安くなっていなければ買わない。すべてに妥協せず、探し回る客が増えている。
衣料品専門店(販売企画担当)	・冷え込んで来て冬物が動き始めたが、実際には暖かい日が続き、売る期間が短くなる。そのため、生産をほとんど控えているところが多く、冬物が不足しても増産せず、このまま推移していく。
乗用車販売店(営業担当)	・デフレが進み、政治も動きがない状態で、景気が上がっていく感じがしない。
乗用車販売店(経営者)	・景気促進の要因はなく、家計の緊縮は続く。
乗用車販売店(経営者)	・良くなる要素は見つからない。
乗用車販売店(総務担当)	・半年位はエコカー補助金終了の影響が残りそうである。
住関連専門店(営業担当)	・消費税増税前の需要が少しずつ出始めている。反対に、公共工事が減少しており、横ばいである。

一般レストラン（従業員）	・相変わらず景気は低いレベルで安定している。今後居酒屋が、昔のように活気付く気もしない。真剣に事業形態の見直しを考えている。	
スナック（経営者）	・忘年会や新年会等で人出は多少にぎわうが、客の財布のひもが固い以上、個人単価が伸びる要素がなく、売上は変わらない。	
都市型ホテル（従業員）	・予約数から判断して、変わらない。	
都市型ホテル（支配人）	・旧正月のインバウンド受注を見極めたい。	
旅行代理店（経営者）	・対中問題が長期化しそうなので、国内産業に影響が出始めてくる。政権交代の先が見えないので、しばらくこの状態が続く。	
旅行代理店（経営者）	・日中関係と、政治の落ち着いたなさにより、この2～3か月もあまり見込めない。	
旅行代理店（経営者）	・ボーナスの支給状況により、今後の景気が左右されそうである。アジアへの旅行は安くても売れない。	
タクシー運転手	・1年ほど前から悪い状態ですときているため、3か月後でも変わりがない。	
タクシー運転手	・夜の繁華街が全く静かで、閉店しているところも数多くある。また自動車業界も中国の影響で先行きが不安定である。先行きに明るい兆しがほとんど見えていない。	
通信会社（企画担当）	・年末に向けて新規契約が伸びてくる時期ではあるが、ここ数か月、新規契約数よりも解約数が上回っている。年末のキャンペーンは行うものの、他社との競争激化も相まって、獲って獲られての状況が続く。	
通信会社（営業担当）	・日本の政治が国民不在の道具として使用されている日々である。新たな政党（政治団体）の出現等具体的に期待するものが見えない。ますます国民不在の政治に利用されると、強く感じる。	
通信会社（営業担当）	・少しずつであるが、次世代ネットワークの販売が増加しつつ、通信設備も高性能化し、収益が見込める。	
テーマパーク（経営企画担当）	・経済の不安定さや電気料金等の値上げなど、先行きが見通せないなか、レジャーに対する消費は、現状維持に当分落ち着きそうである。	
ゴルフ場（企画担当）	・3か月先は冬場に入り、ゴルフ場は、場所によって厳しい。客の様子を見る限り、急に入場者が減ることはないが、雪などで、入場者数が減る可能性は大きくなる。12月頃までは大きな変動はない。	
美顔美容室（経営者）	・12月末までホームケアセットと新商品のキャンペーンがあるため、今のペースでいく。	
住宅販売会社（従業員）	・2～3か月先では変化は見られない。	
住宅販売会社（従業員）	・今、住宅を建築するという決断を迫るための要因が特段あるわけでもなく、客としても焦っていない様子である。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・ここにきて、原材料の高騰が利益率を圧迫してきている。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・世間の風評により、やや悪くなる。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・景気悪化の報道もあり、客の来店が控えられる傾向が続く。
	一般小売店〔食品〕（経営者）	・しばらくは横ばい状態が続く。以前から外国人客も比較的多い街であるが、明らかに減少している。集客力を高める策を色々やっているが、なかなか効果が期待できない。国にもっと景気浮揚策を打ってもらわなければいけない。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月先に向かっても、家庭費・広告宣伝費・交際費すべてマイナス傾向で進んでいく。客は、今使うお金を効果的なところに使い、余分な物は使わない。残念だがますます経費削減の方向へいく。贈答品業では景気は厳しくなっていく。
	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・政治の不安定が一番の要因であるが、その他の外的要因も、好転する兆しが無い。今より良くなるとは思えない。
	百貨店（販売担当）	・来客数も前年同月比で悪く、購買意欲があまり感じられない。
	百貨店（販売担当）	・中国での反日デモの影響で、冬の賞与がマイナスになる企業が多そうなので、ボーナス商戦は苦戦しそうである。
	百貨店（経営企画担当）	・景気が良くなる状況が想像できない。円高、中国問題などの対外的な事案が良い方向にいかない限り、企業業績も少しずつ悪化をたどる。そのことを含め、消費に悪影響を及ぼすのではないかと懸念される。

スーパー（経営者）	・3か月先の景気も相変わらず、欧州・中国への輸出が伸びず、国内の消費も伸びない。全体的に価格競争だけが激しくなり、利益は伸びずに閉塞状態が続く。もっと円安を大胆に進めないといけない。3か月先の景気も、まだまだ良くない状態が続く。
スーパー（店長）	・数日前に、他県からスーパーが約2.5キロの位置に新規出店してきた。2～3か月は、影響する。
スーパー（総務担当）	・ポジョレーヌーヴォーの予約が前年同月に比べて伸び悩んでいる。
スーパー（支店長）	・主たる産業である工業が著しく落ち込んでいるため、消費減につながる。
コンビニ（エリア担当）	・今月を見ていると、来客数は減り客単価が少し上がっている状況である。来客数は毎月厳しくなっているため、客単価が上がったところで来客数が減り続ければ全体的にも厳しくなる。
コンビニ（エリア担当）	・更に競争が厳しくなっていく。
コンビニ（店長）	・近くの別のコンビニ既存店も、新規出店に対抗して駐車場を広くして店舗を建て直している。この2店との争いで、再び影響が出ることを懸念している。
コンビニ（商品開発担当）	・大手自動車メーカー関連のラインの調整による休日の増加が、来客数及び客単価にマイナスに働くと予想される。
家電量販店（店員）	・政治の影響なのか、政策の問題なのか、雇用や所得が前年同月に比べ周りの各企業共良くないとの話を耳にする。この先景気が良くなるような状況ではない。
家電量販店（店員）	・中国の政治、貿易摩擦が一番大きな要因で、鈍化していく。
乗用車販売店（従業員）	・全体の値動きとして安くなってきている気がする。来客数・販売量の動きも今月は少ないため、全体的な期待感が持てない。
乗用車販売店（従業員）	・新車の増販が見込める要素がなく、かなり厳しくなる。
乗用車販売店（従業員）	・先行きが見通せないから、今は車を買換える時期ではないとの言葉が、客の口から出る。距離もこれまでほど乗らなくなったと言う。客の車への購入意欲が減少し、ますます財布のひもが固くなってきている。
乗用車販売店（従業員）	・しばらくは前年同月比を割り込んだ状態が続く。かなり前倒しで受注をした感があるので、決算セールがある来年までは明るい材料はない。工場への在庫も少ない。かといって、客が他社に在庫している事もない。自動車の経費を削っているのが見て取れる。しばらくは冷え込んだ状態が続く。
乗用車販売店（経理担当）	・需要の先取りの反動で、受注量が減少している。今後もしばらくは予断を許さない状況が続く。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・現政権が続く限り、景気回復など夢のまた夢である。
その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・当月は、売上高が前年同月比1.6%減少、来客数は同7.0%減少している。百貨店業界、チェーンストア業界の売上高もそれぞれ5か月連続、7か月連続で前年同月割れを記録しており、景気は悪化している。
一般レストラン（経営者）	・冬場に向けて、燃料費等もじりじり上がっている。全体的に買い控えが増える。
観光型ホテル（経営者）	・東日本大震災後の反動がそろそろなくなりつつあり、2～3か月先はやや悪くなる。宿泊者数も横ばいになってきており、15%アップということはなくなっている。
観光型ホテル（販売担当）	・一般宴会で、建築や薬品系の企業の利用は固いが、他の製造業などの先行きが見えないため、今後の受注や今入っている物件のキャンセルが発生してこないかと心配である。
都市型ホテル（経営者）	・週末の宿泊客数・飲食店の来客数に陰りが見える。これが今後も拡大する。インバウンドの客の激減が影響している。
都市型ホテル（経理担当）	・レストラン部門全体で、夜の外来客数が減少している。
旅行代理店（経営者）	・やはり日中関係が経済に与える影響は、計り知れない。まだまだ収束感がないので、今後も平行線もしくは悪化の方向である。
旅行代理店（経営者）	・米国、中国の指導者が決まり、両大国の政治経済が動き始め、来年には新たな局面が生まれる。しかし、日本においては決められない政治が現在の経済に影響し、消費税増税を目の前にしてますます消費者の消費意欲を減退させている。
旅行代理店（従業員）	・景気の回復がなかなか見込めないため、旅行に回ってくるお金は減ってくる。この業界が、先行き不安な感じを受けている。

		旅行代理店（従業員）	・お正月期間の海外旅行の申込が少ない。国内旅行も、ホテル単品の予約件数も減っており、見通しはあまり良くない。特需（ロンドンオリンピックやぎふ清流国体）も終わり、取り立てて伸びる要素が見当たらないので、少し不安である。
		通信会社（サービス担当）	・最高スペックへの切替えが落ち着いて来るので、景気は落ち込む。
		観光名所（案内係）	・今年の冬は寒そうであり、買物に出る人、その他の外出をする人が非常に少なくなる。
		理美容室（経営者）	・客との話で、働いても給与が上がらず小遣いがないとのこと、皆あまりお金を使わない。
		その他サービス〔語学学校〕（経営者）	・事業規模を縮小したマイナス面が見られる。
		住宅販売会社（従業員）	・年末に向けて、例年のように客足が引き始めるため、販売も減少するはずである。また、例年税制の予算など気になる頃であるが、いつも12月まで決まらず、客の足も止まる。今年もいつも通りか、解散総選挙の影響がありもっと悪くなるかもしれない。
悪くなる		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・対中国の経済不安と政治不安、この不安要素が大きい。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・今の政治状況の停滞が一番の原因である。全く動かせない、動かす気のない現政権のままでは、地域が良くなるとは思えない。早く選挙をやしてほしいが、政治をわざと遅らせようとする政権与党を見ていると腹が立ってくる。早く体制を変えて、新しい流れになれば、客も我々も気分的に変わるような気がする。
		百貨店（販売担当）	・気温の変化があっても、必要な物だけ購入する傾向は変わっておらず、先行きに対しても期待できない。
		スーパー（商品開発担当）	・低価格商品を発売すると、その商品の販売は伸びるが全体が伸びない。大手家電メーカーの工場が年度末で閉鎖するなど、雇用が失われるなか、競合食品スーパー、総合スーパーの出店が加速し、明るい話題がない。
		コンビニ（店長）	・主要取引先の経営状態に、陰りが出てきている。
		乗用車販売店（従業員）	・政治の状況・世界の情勢を見ていると、まだまだ年末に向けて悪くなる気がする。
		その他専門店〔貴金属〕（店長）	・相変わらず景気は悪く、一段と低価格志向が強まっており、販売量・売上共に落ち込んでいる。先の明るさが見えてこない。
		高級レストラン（スタッフ）	・東日本大震災や稲藁汚染、各種イベント等の影響による、来客数・売上の変動をならしてみると、今年の春以降、来客数の動向は減少基調にある。各種の販売促進策の効果も、弱い状態が続いている。
		テーマパーク（職員）	・中国人などの観光客がほとんど来ない。
		パチンコ店（経営者）	・業界全体で販売量が低下傾向にあり、客単価が著しく下がってきている。
		美容室（経営者）	・自民党・民主党が解散だとテレビで言っており、国民は不安でお金が使えない。
		理容室（経営者）	・今の国会を見ていると、お先真っ暗である。景気が良くなるわけがない。
		設計事務所（経営者）	・単価に関するクライアントの要望がかなり厳しくなっている。
		住宅販売会社（経営者）	・客の所得が少ないため、銀行融資が受けられない、融資が受けられなければ買えない客が多く、今後も売行きは悪い。
		その他住宅〔住宅管理〕（従業員）	・今は政局がかなり不安定なため、会社も不安を感じている。私自身もリストラの通告を受け、情勢的には厳しくなっている。
企業動向 関連 (東海)	良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新設住宅着工件数の増加により、良くなる。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経理担当）	・景気は底入れし、わずかながらではあるが受注量は増加の兆しがある。ただし、受注価格は厳しい。
		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先の年末年始の納期があるため、受注量が増える。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・生産計画、年末に向けて増産傾向にある。
		建設業（経営者）	・懸念事項は多くあるものの、消費者マインドは決して悪くない。
		行政書士	・年末に向かい、貨物の動きが少し出る。
変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・しばらくこの状況のまま、変化なく推移する。	
	窯業・土石製品製造業（社員）	・全体的に低調であるが、鋳造向け新製品の採用が増えつつあるため、減少分をカバーできそうである。	

金属製品製造業（従業員）	・忙しい分が利益につながれば良いが、原材料の価格も底入れ傾向であり期待できないので、忙しくても景気が良いとは言い切れない。	
一般機械器具製造業（営業担当）	・欧州の信用不安問題が解消されるか、円高が終了しない限り、受注量が増加する見込みがない。	
電気機械器具製造業	・設備投資意欲は高まってきているが、獲得競争が厳しく利益が上がらない。したがって、景況感としては変わらない。	
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・中国の問題が解決せず日本車が当面売れない分、日本からの中国向け部品が出ないため、今と状況は変わらない。	
建設業（営業担当）	・経済がこのような状態のなかで、1つの仕事なくなり、1つの仕事が増えたところで景気が変わると思えない。テレビでやっている水掛け論が続く間は、動かせるお金があったとしてもストップがかかっている。もう少し考えた政治にならないと難しい。	
金融業（企画担当）	・米国の大統領選の終了、欧州の信用不安問題の目処、中国を中心とした新興国の景気維持の目処、国内の政局の落ち着き等、これらの先行きがある程度見えてこない、個人、法人とも投資は増えず、景気も回復してこない。	
不動産業（経営者）	・消費税率引上げ前の需要はあるものの、特需とならず供給過多で推移する。	
不動産業（管理担当）	・世界的な経済の落ち込みでこれ以上悪くならないことを祈っている。引き合いがない分、変わらない。	
不動産業（開発担当）	・2～3か月の間では、特に変わるということは想定できない。	
広告代理店（制作担当）	・企業側からの発注や、問い合わせ等も少なく、具体的に景気の良くなる要素が見えてこない。	
新聞販売店〔広告〕（店主）	・以前は、住宅を新築して入居する人のほとんどが新聞を購読契約していたが、最近は購読しない人も出てきている。	
会計事務所（職員）	・生活範囲内で、遅いペースであるが、道路を中心とした公共工事の復活が始まっている。地域業者と合同で行っているようであるが、非常に遅い進行である。突貫工事、継続工事がなく、単発受注は人員確保、機械使用面で経営効果が薄い。	
会計事務所（社会保険労務士）	・発注単価は相変わらず安いままで、また、自動車メーカーへ部品が流れていく零細企業は発注数が減少したままである。我慢が続く。	
その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・中国への販売量の低下を受けて、状況がどのようになるか不明である。	
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・中国に対する減産も、戻ってくるため、それほどの不況感はない。年末に向け忙しくなってくる。少し円安になると言われているが、揺り戻しはまたくる。新商品の開発が必要である。	
やや悪くなる	食料品製造業（経営企画担当）	・中国の反日デモ関連も落ち着きつつあるものの、根本的な問題としてはなんら解決されておらず、引き続き不透明な状況が続く。中国の成長も減速し、中国に進出している企業にとっては厳しい状況が続く。
出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末の1か月前は、店舗や企業からの広告予算が出にくい。	
印刷業（営業担当）	・景気が良くなるような材料は見つからず、このままの状態が続く。	
化学工業（企画担当）	・中国景気減速や反日デモによる販売不振など、中国リスクが、特に消費財メーカーで顕在化することが予測される。その影響が少し遅れて生産財メーカーにも波及し、景気は減速傾向となる。	
電気機械器具製造業（企画担当）	・欧州の経済危機や中国との関係悪化により、売上回復の期待ができない。政府の円高への対応も期待できない。	
電気機械器具製造業（営業担当）	・円も高止まりで、好転要素は見受けられない。	
電気機械器具製造業（経営者）	・取引先が同業他社から価格の安いものを探し購入する量が増え、当社の売上が減少傾向にある。また、円高等の継続、自動車産業の低迷と、全体に景気が悪くなっている。	
輸送業（経営者）	・中国問題を発端とする景気減速懸念から、国内での一般消費においても、財布のひもが固くなり落ち込むと考えられる。消費財の一層の価格下落と、消費不振による物流費の減少が見込まれる。	
輸送業（従業員）	・中国・韓国との関係悪化に好転の兆しがなく、景気全体を悪化させる要因になるのではないかと。また、原油価格の高止まり、大手家電メーカーの工場閉鎖と人員整理が、地域経済を暗くしている。	
輸送業（エリア担当）	・日中関係の悪化により、今後自動車部品等の動きに影響が出てくる。	

		輸送業（エリア担当）	・大手自動車メーカー関連の荷物が減っており、また中国向けの荷物も減ってきているので、先が全く見えない。
		輸送業（エリア担当）	・しばらく中国向けの輸出は低水準となる。
		輸送業（エリア担当）	・軽油を使わずにいる産業界の流れは、経済活動の停滞や足踏みを意味している。これが急激に回復する方向は今のところ見えない、兆しがないと、石油会社は言っている。下支える軽油販売業の回復がない限り、景気の回復もあり得ない。
		通信会社（法人営業担当）	・予算不足による経済対策の鈍化、日中・日韓関係の悪化による貿易の減少、政治の停滞により、諦めモードである。
		金融業（従業員）	・自動車産業が多いが、中国問題以来あまり良くなく、ここ2～3か月に限っては先行きが全く見えない。中小企業で生産が止まっているなど、非常に悩んでいる人が多い。
		その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	・季節的変動の幅から逃れられない。
	悪くなる	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・主要な取引先の自動車関連への梱包資材は、数か月先に改善する見込みが立たないため、引き続き景気状態は悪くなる。
		化学工業（人事担当）	・中国市場は販売先としても、また製造場所としても日本には大きな関わりがある。愛知県は自動車産業がメインの1つであり、今の関係悪化が長引けば、景気が悪くなることは避けられない。
		鉄鋼業（経営者）	・受注量不足で、流通間での価格の競争による単価の下げ合いにより、販売量は微減でも、受注金額の総額では落ち込みが大きくなっている。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・チャイナショックは確実に生産量を減少させている。
		金融業（法人営業担当）	・エコカー補助金終了後の国内自動車販売の反動減に加え、日中関係悪化の影響による中国向け輸出の減少から、当地の自動車部品メーカーの生産は総じて2割程度の減少を余儀なくされる。
		公認会計士	・中国の対日政策、国内状況が良くなる見通しが無い。国内の政治が停滞している。
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・派遣労働者の稼働者数が増加傾向に転じていることに加え、業務委託契約も増加しているため、回復の方向にある。
(東海)		アウトソーシング企業（エリア担当）	・年末から年明けにかけては、自動車生産が若干上向きになる。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	・客の環境及び採用環境共、ほとんど変化はない。
		人材派遣会社（経営者）	・求人数の動きは変わらずに出てくると思うが、求職者があまり出てこない。求職者自身が選り好みしながら求職活動をしている感じがあり、今後も人材が非常に枯渇・不足する。
		人材派遣会社（社員）	・企業は優秀な人材なら正社員としての採用意欲は高いが、それに見合う人材が少ないのがネックとなり、雇用促進につながっていない。
		人材派遣会社（社員）	・現時点では、予約状況が良くなく、今後の忘年会の予約に期待したい。
		人材派遣会社（営業担当）	・現状の停滞状態がしばらく継続する。
		職業安定所（職員）	・前年同月比で、製造関係の求人は減少しているが、その反面、医療・福祉関係は増加を続けている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・今年就職活動をしている4回生の中には、前年までの雇用状況により、故意に修得単位を調整の上で留年した学生が相当数存在している。そういった層が一層求人倍率に影響している。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣を始めとした、外部人材の活用方針が縮小トレンドにある。
		人材派遣会社（営業担当）	・中国リスクや政治の状況などを鑑みると、景気に良い影響を与えそうな要素が見当たらない。
		人材派遣会社（営業担当）	・政情不安定による各種意思決定の遅れから、経済が鈍化する。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・円高に対応する産業空洞化の懸念、中国問題の長期化により、景気は後退する。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・エコカー補助金の終了と海外経済に対する不透明感で、自動車部品関連、販売などの業界は、下降気味の見通しである。景気後退の懸念が強まるなか、消費者マインドにも悪影響が予想される。

	職業安定所（所長）	・介護、福祉関係の求人は依然として増加するものの、海外の諸事情等の影響を受ける自動車部品等の製造産業や、付随する物流関係の産業では、現在より新規求人は減少する。
	職業安定所（職員）	・基幹産業である自動車産業の海外シフトと、電気関係大手の希望退職者募集があり、景気は悪い方へ向かう。
	職業安定所（職員）	・円高や中国情勢に加え、家電関係の工場の縮小・閉鎖・海外移転等、不安材料が増加してきており、今後悪くなる。
	職業安定所（次長）	・前月に液晶基板工場の雇用調整があった以外に、新たな工場撤退が所管内で報道され、今後も工場撤退や雇用調整が懸念される。
	民間職業紹介機関（支社長）	・企業の採用計画が見直し・凍結となるケースが散見され、徐々に景気は下振れしていく可能性が高い。
悪くなる	職業安定所（職員）	・隣接地の大手家電メーカーの撤退は、労働者の雇用のみならず、地域経済に悪影響を及ぼすと考えられる。また、中小企業金融円滑化法が平成25年3月で終了することを受け、経営状態が悪化する中小企業が年度末に増加することが懸念される。